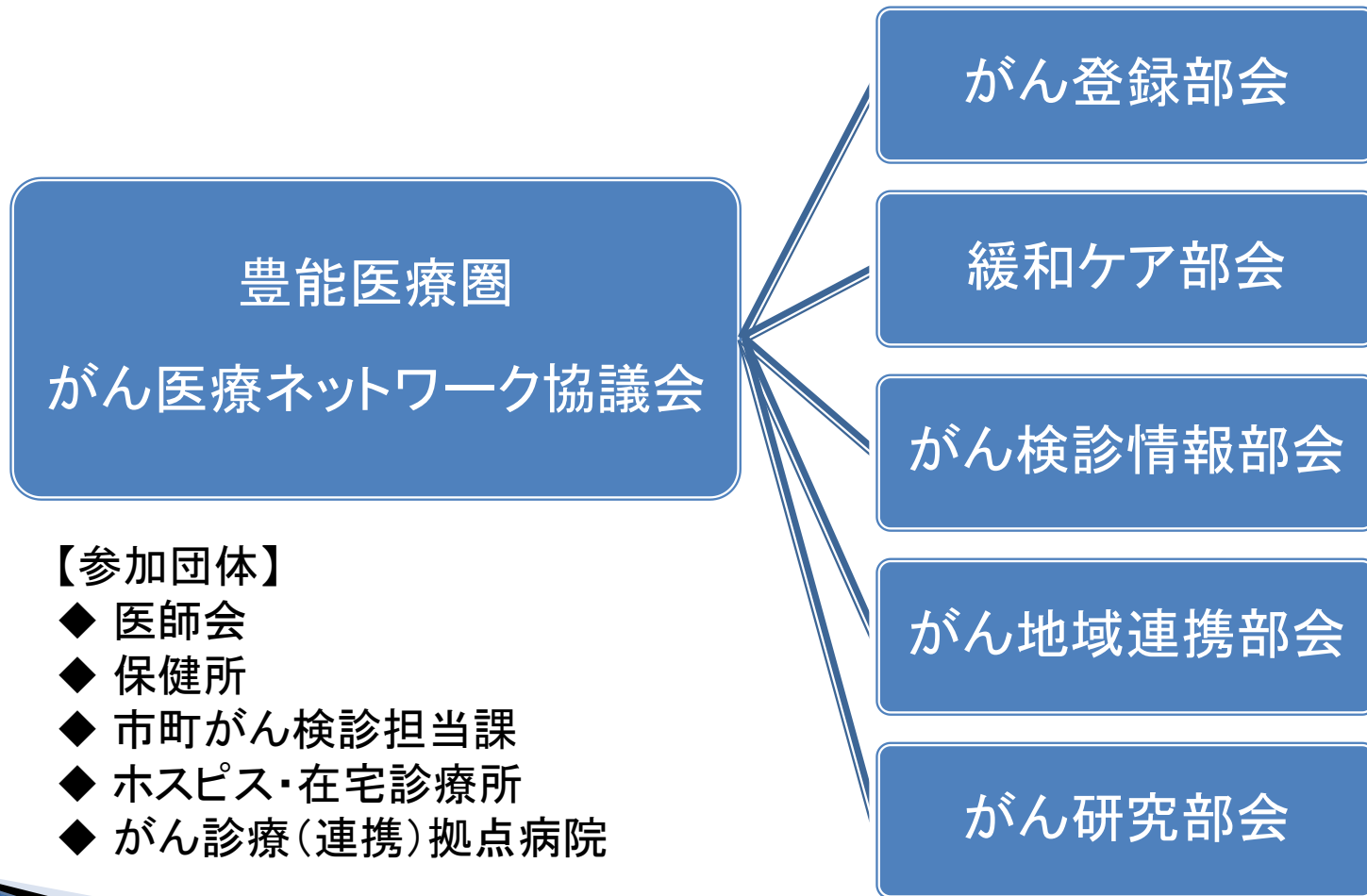


# 豊能医療圏 がん医療ネットワーク協議会 活動報告

〔平成30年(2018年)8月1日〕

市立豊中病院  
大阪大学医学部附属病院

# 組織図



# がん登録部会

【部会活動のメインテーマ】網羅的で精度の高いがん登録の実施

【平成30年度(2018年度)活動目標】

## 1. 大腸がんの院内がん登録データを用いた現状分析

- 平成28年(2016年)～平成29年(2017年)の院内がん登録データから、地域、進行度や治療内容等のベンチマークを作成
- 自施設の登録状況の把握と豊能医療圏での大腸癌の現状についての比較・分析

## 2. 院内がん登録の制度管理

- TNM悪性腫瘍の分類第8版(UICC)について、7版からの変更点・注意点等の情報交換

# 緩和ケア部会

【部会活動のメインテーマ】緩和ケアの普及

【平成30年度(2018年度)活動目標】

## 1. 緩和ケアにかかる地域医療機関との連携強化

- 地域医療機関が必要と考える情報のうち、診療情報提供書や看護サマリーには記載のない情報のみを抜粋した緩和ケア情報提供シートの作成
- 地域連携を目的とした研修や会合等への相互参加
- 部会への訪問看護師の参加

## 2. 緩和ケア研修会の受講促進

- 受講対象者の把握、各施設の開催予定、及び受講促進の取り組みを情報共有
- 地域の医師、多職種への部会メンバーを通じた広報

## 3. 緩和ケアの普及促進

- 緩和ケアに係る医療従事者向け研修会の各病院での開催

## 4. 患者及び家族が心の悩みや体験談を語り合う場の提供

- がんサロンの開催一覧ポスターの更新、及び周知への活用

# がん検診情報部会

【部会活動のメインテーマ】

がんに関する情報の普及、及びがん検診の受診率向上

【平成30年度(2018年度)活動目標】

## 1. がん教育の推進

- 関係機関と連携した、各市町で実施の講座・研修等への講師派遣
- 小学生を対象とした教材等の検討

## 2. がん医療公開講座の企画

- 平成31年度(2019年度)のがん医療公開講座実施に向けたワーキンググループの立ち上げ
- 講師選定等の企画立案

# がん地域連携部会

【部会活動のメインテーマ】地域連携によるがん医療の充実

【平成30年度(2018年度)活動目標】

1. <がんリハビリテーションチーム>

がんリハビリテーションの啓発と均てん化

- 各施設の実績データ(部位別・年齢別・期間等)の収集と情報共有

2. <がん相談支援センターチーム>

がん相談支援センターの連携と改善

- 各施設のがん相談支援センターについて情報共有
- 課題・問題点の解決に向けた意見交換

# がん研究部会

## (1) 小児がん対策

- **小児がん診療に関わる医療機関ネットワークの構築**

阪大病院は、大阪府内のがん診療連携拠点病院等と連携し、小児がん患者の診療に取り組んでいる。特に骨軟部腫瘍、脳腫瘍、網膜芽細胞腫、肝移植の必要な肝芽腫については大阪府内から患者が集積しており、小児科、小児外科、眼科、整形外科、脳神経外科が連携して治療にあたっている。また、近畿若手小児血液クラブを組織し、若手医師の教育も行なっている。AYA世代のがんに対しても力をいれており妊孕性についても産婦人科と連携している。がんになっても一生を通じて質の高い生活を送ることができるように多職種による支援を行っている。

## (2) 骨髄移植および臍帯血移植の推進

- **骨髄移植および臍帯血移植の現状**

造血幹細胞移植の件数は年間平均28件（直近3年）である。移植の幹細胞ソースとしては血縁、骨髄バンク、臍帯血のすべてに対応している。特に骨髄バンクからの移植が多く約2/3を占めている。

# がん研究部会

## (3) がん研究の推進

### ● 多施設臨床研究の推進（特定非営利活動法人SCCRE（エスキュール））

がん臨床研究を実施する7つの研究会（消化器がん、乳がん、肺がん、泌尿器系がん、骨髄腫等）を支援している。

### ● 臨床研究中核病院

平成27年8月に臨床研究中核病院の認定を受けた。質の高い臨床研究支援のために更に未来医療開発部を整備する。

### ● がんゲノム医療中核拠点病院

・「がんゲノム医療を総括する部門の設置」として、がんゲノム医療センターを設置し、平成30年2月16日付でがんゲノム医療中核拠点病院に指定された。

・平成29年度は臨床研究としてがん遺伝子パネル検査を実施した。

### ● 臨床研究法への対応



# がん研究部会

## (4) 先進医療の推進

### ● 以下の先進医療を現在実施中である

1. パクリタキセル静脈内投与及びカルボプラチン腹腔内投与の併用療法（先進医療B）
2. 周術期カルペリチド静脈内投与による再発抑制療法（先進医療B）
3. 11C標識メチオニンを用いたポジトロン断層撮影による再発の診断 頭頸部腫瘍（先進医療B）
4. 放射線照射前に大量メトトレキサート療法を行った後のテモゾロミド内服投与及び放射線治療の併用療法並びにテモゾロミド内服投与の維持療法（先進医療B）
5. 11C標識メチオニンを用いたポジトロン断層撮影による診断 初発の神経膠腫が疑われるもの（先進医療B）
6. 術前のS-1内服投与、シスプラチン静脈内投与及びトラスツズマブ静脈内投与の併用療法（先進医療B）
7. テモゾロミド用量強化療法 初発時の初期治療後に再発又は増悪した膠芽腫（先進医療B）
8. 腹腔鏡下傍大動脈リンパ節郭清術（先進医療A）

## (5) 人材育成

### ● がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン（大学院）

26名が在学中（薬物療法、放射線治療、緩和医療、外科治療、放射線物理、細胞診、がん看護等）